

「ヘイワード」におけるキウイフルーツ かいよう病の総合的防除体系の確立

病害虫部

1 背景、目的

平成 26 年に本県で初めてキウイフルーツかいよう病新系統（Psa 3）が確認され、防除対策を早急に確立する必要がありました。そこで、主要品種「ヘイワード」の薬剤防除と耕種的防除を組み合わせた効果的な総合防除体系を確立しました。

2 成果の内容、特徴

- 1) 薬剤防除は、落葉期（12月）、剪定後（1～2月）、発芽前（3月）、新梢伸長期（4月）に銅水和剤で4回実施をします（表1）。
- 2) 発病した枝は、病斑部の1年前の枝の基部で切除し（図1）、切除した枝は埋設するか、透明なビニルで冬季から秋季まで被覆した後に処分します。
- 3) 「ヘイワード」ではこれらを組み合わせた総合的防除体系が効果的です（表2）。また、発病葉が散見される圃場や周辺に多発した圃場では、追加防除が必要です。ただし、中国系品種に対する効果は不明です。

3 主要なデータ・画像など

表1 キウイフルーツかいよう病に対する総合的防除体系（ハイワード）

防除適期	薬剤防除	耕種的防除
落葉期（12月） 剪定後（1～2月）	銅水和剤	月2回程度見回り、枝切除を行う
発芽前（3月） 新梢伸長期（4月）	銅水和剤	週1回程度見回り、枝切除を行う

- 注) 1. 園地の衛生管理、健全な資材の使用、防風対策等の予防管理を行う。
 2. 銅水和剤は発芽期以降、薬害を生じやすいので、種類や使用時期を注意する。
 3. 発病葉が散見される場合は、追加防除を実施する。

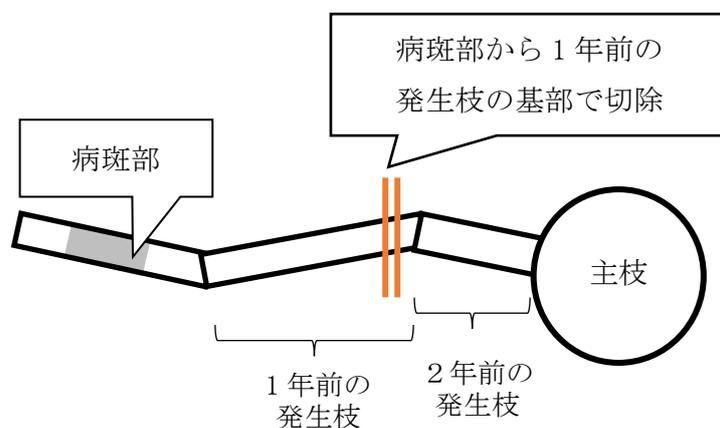


図1 発病枝の切除法

表2 かいよう病発生ハイワード栽培圃場における総合的防除体系の現地実証結果

試験樹数	薬剤防除 (銅水和剤)	耕種的防除		発病結果	
		調査日	枝切除数	調査日	発病葉数
H27年冬～ H28年春 42樹	落葉期、剪定後 発芽前、新梢伸長期	H28年 2～4月	23本	4～6月	0枚
H28年冬～ H29年春 27樹	落葉期、剪定後 発芽前、新梢伸長期	H29年 4月	7本	4～6月	0枚